

【全34事業・細目61事業のうち抽出8事業・細目15事業】
 未達確定：8/15事業（うち新型コロナウイルスの影響あり：7事業）
 達成困難：1/15事業（うち新型コロナウイルスの影響あり：1事業）
 順調：2/15事業
 達成済：4/15事業

目標数値：太字
 目標数値に対する実績：《 》

「令和2年度磯子区運営方針」抽出事業（8事業）の振り返り（下半期）

施策名	今年度の主な施策等の内容 (目標等)	下半期（令和2年10月～令和3年1月分） ※令和3年1月31日基準	
		主な実績	現状の課題と対応策等
安全・安心なまち	〔1〕災害時安否確認支援 ①災害時安否確認バンドナの配布と活用方法の周知 区内全戸《区内全戸》	①これまでに配布したものを含め全世帯（約77,000世帯）にバンドナが行き渡るよう、自治会町内会へ配布を依頼（11月） 広報よこはま磯子区版において、バンドナ配布及び活用方法を周知（12月）	①広報よこはままで周知したことで、自治会町内会未加入世帯から配布希望があり、随時、個別に配布している。また、バンドナの活用方法などの周知が足りないという意見があったため、ホームページで周知した。
	〔2〕管理不全空家等の対策 ①管理不全空家の全数調査及び結果に基づいた指導の実施	①秋季分の現地調査を実施（10月～11月、27/86件）し、今年度予定していたすべての調査を完了。全86件の対応方法を分類済み（改善20件、指導31件、経過観察35件）	①指導対象の31件に対し、順次、適正な管理を促す通知を発送中。所有者調査（登記簿や課税状況調査等）に多くの時間がかかるため、危険度の高い空家から指導通知を送付している。
魅力あふれるまち	〔3〕区の魅力の創出・発信 ①区の魅力を伝えるプロモーションパンフレットの作成及びホームページでの発信 ②磯子まつりの開催 来場者満足度90%《中止》	①コンセプトを確定。新たにドローンによる写真撮影を実施するなど、素材を収集。デザイン検討を引き続き実施 ②磯子まつり振興委員会及び部会（3月）の開催に向けた準備 ※磯子まつり振興委員会(11月) 中止	①年度内にパンフレットを完成させ、印刷を行うとともに、区のホームページに掲載し発信していく。 ②今年度第2回目の緊急事態宣言が発出されたことなども踏まえながら、来年度の磯子まつり開催に向けて、新しい生活様式を踏まえた開催内容を引き続き検討する。
	〔4〕商店街のにぎわいづくり ①商店街朝市の開催 6回 ②商店街魅力発信イベントの実施 1回《1回》	① 0回【累計0回（5回中止）】 新型コロナウイルス感染症の影響により2回（11月、1月）中止 ②「いそご商店街宝くじ」を開催（10月） 参加店舗数：51店舗 宝くじ配布数（＝延べ参加者数）：約29,000枚	①新型コロナウイルス感染拡大防止と朝市への集客・参加店舗の確保の両立が難しく、また、緊急事態宣言の発出も重なり、中止が続いている。状況を注視しながら、再開及び来年度の予定について、区商連と検討していく。 ②参加店舗からは、「この企画により来店した新規のお客様がいた」等、事業を評価する意見が多く寄せられた。区商連は、感染リスクを抑え、コロナ禍でも区民に楽しんでもらえるイベントが実施できたと考えている。 参加店舗へアンケートを実施しており、結果を区商連と共有し、来年度の企画に活かしていく。

施策名	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">未達確定 達成困難 順調 達成済</div> 今年度の主な施策等の内容 (目標等)	下半期 (令和2年10月～令和3年1月分)	
		主な実績	現状の課題と対応策等
ともに支えあう暮らしやすいまち	〔5〕保護者の悩みに寄り添った子育て支援 ①子育て支援連絡会の区内全域での開催 計8回(4エリア各2回) 《計5回(5エリア各1回)》 <怒らない子育ての推進> ②怒らない子育て紹介講座の実施 1回《中止》 ③怒らない子育てサポーター基礎講座の実施 1回《1回》 ④怒らない子育て方法実践講座の実施 1会場15人《中止》 ⑤怒らない子育て方法実践講座のフォローアップ 講座の実施 2回計15人《2回計13人》	①計5回(5エリア各1回) (10月～11月) 【累計5回(5エリア各1回開催、1回中止)】 ②緊急事態宣言発出のため中止 ③1回 (11月、12月) 感染症拡大を踏まえ、短時間で実施するため、当初1日で行う予定の内容を2日に分けて実施 ④新型コロナウイルスの影響により中止 ⑤2回計13人 受講 (11月)	① 4エリアで開催予定であったが、密を避けるため、5エリアに変更し、会場数を増やして開催した。2回目は、全エリアをまとめた全体会に変更し、開催の準備をしていたが、緊急事態宣言発出のため中止となった。地域での活動を支援できるよう、来年度の早い時期での開催を目指す。 ② 紹介講座を開催予定だった子育て支援連絡会(全体会)が中止となったため、講座も中止。来年度の早い時期での開催を目指す。 ③ 来年度の実施に向けて、開催内容を検討する。 ④ 「こどもに対してイライラしてしまう」「こどもを叩いてしまうことがある」などの相談があり、対応を行った。引き続き、情報提供が必要な方には個別に対応していく。 ⑤ 2回開催することができたが、受講者数が目標に達しなかった。参加できなかった方も含め個別の相談に引き続き対応していくとともに、来年度の実施に向けて開催内容を検討する。
	〔6〕地域とともに取り組む児童虐待防止 ①地域や保育・教育機関と連携したエリア別児童虐待防止連絡会の区内全域での開催 6エリア計14回《6エリア計8回》	①2エリア計2回【累計6エリア計8回(6回中止)】 緊急事態宣言の発出に伴い、6エリア各1回計6回中止	① 新型コロナウイルス感染症の影響により関係機関が集まる機会が少なくなっている。関係機関を個別に訪問し、ケース状況を共有した。
	〔7〕磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の推進 ①スイッチON磯子事業補助金活用事業数 93事業 ②第4期磯子区地域福祉保健計画の策定 《策定延期》	① スイッチON磯子推進組織への支援を通じた事業の推進 (全9地区) ②策定延期 (令和3年度中の策定) 策定・推進検討会1回(11月) 各種分野部会・地区部会各1回(10月) 地区別計画策定に向けたワークショップ全9地区(10月～12月)	① 一部の地区では、小規模での実施や屋外活動への変更など、工夫しながら活動を再開していたが、2度目の緊急事態宣言発出に伴い、多くの地区が再び休止している。実施方法の工夫等について情報提供をするなど、再開に向けて取組の支援をしていく。 ② 令和2年度内に予定していた策定期間を、3か月程度後ろ倒しすることを決定したが、2度目の緊急事態宣言の発出に伴い、さらに延期することとした。地区別計画策定ワークショップや区民意見募集を延期するなど、策定スケジュールの詳細を見直している。また、新型コロナ対応に注力するため、区社会福祉協議会と調整し、計画策定業務の一部を区社協が中心となって進めることとした。
	〔8〕多文化共生の推進 ①全ての窓口で利用可能な音声翻訳機の配備 《配備》	① 音声翻訳機を、当初計画の7台(配備済)に加えて、新たに18台を追加し、区役所や地域ケアプラザに配備 (10月～1月)	① 音声翻訳機は、昨年度配備した1台と合わせて計26台となった。音声翻訳機の案内表示(多言語)を窓口を設置するなど、活用について広く周知し、利用促進を図っている。